

さい帯血移植に協力してくれた方々に

2歳の時に難病であることがわかりました。治療法はなく重症化すると2年生きられるかどうかと…。ただ重症化しないよう願うことしかできず、いつ重症化するかもわからない恐怖を抱え、小学校を卒業するまで元気でいられるのだろうか…そんなことを考えながら過ごしていました。

小学校入学後、ついに恐れていた重症化の診断が下されました。重症化を止められる可能性があるのは移植のみ。日々病状が進行するため移植を急ぐ必要があったのですが、ありがたいことにすぐに一致する臍帯血が見つかり臍帯血移植を行うことができました。無事に生着し重症化を止めることができ、元気に退院することができました。生活に支障をきたす症状が出る前に重症化を止めることができたのは奇跡だと思います。これも提供していただいた臍帯血のおかげです。

これまで全く考えられなかった中学高校、その先まで未来の扉が開き急に光が差しこんだのを感じています。本当に感謝しかありません。これからも感謝を胸に1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。ありがとうございました！

京都府 ゆっちゃんのママさん